

BCL新型コロナウイルスの影響をふまえたリーグ運営ガイドライン

最終更新日:2020年6月17日

カテゴリ	観点	概要	備考
リーグ戦 開催概要	地区制 及び グループ制	3地区6グループ制 【東地区】グループA:茨城・栃木、グループB:埼玉・神奈川 【中地区】グループC:福島・新潟、グループD:群馬・信濃 【西地区】グループE:富山・石川、グループF:福井・滋賀	リーグ戦期間中は6グループ毎での勝敗分、勝率の1位・2位表記し、グループ1位は地区チャンピオンシップ(以下CS)進出
	試合数	各球団とも全60試合(ホーム30・ビジター30) 各地区とも全120試合×3地区=リーグで全360試合	
	対戦カード	各地区を2グループに分けた上でグループ毎に順位決定 隣県カード傾斜	例:福島の場合・・・新潟40、群馬10、信濃10
	開幕時期	6/20開幕	
	閉幕時期	10/11閉幕	
	リーグ戦の成立条件 順位の確定	規定試合数を50%(30試合)とする ※10/15までに全試合を消化できない場合でも、当該グループの2球団が規定 試合数以上の試合を消化していれば、プレーオフへの進出を決定する順位付 けをできることとする	感染拡大状況が厳しい場合は、臨時代表者会議にて各グループ 毎に規定試合数の変更や中断や打ち切り等を判断することもあ り得る
	各球団が全60試合の消化を 目指すための特別ルール	「ホームゲーム開催地域権」の対象地域を拡大 ※NPBの保護地域に準ずる考え方	例:「埼玉-神奈川」を栃木県内で開催する等
特別ルール	延長戦	リーグ戦において延長戦はなしとする	
	試合時間の制限	7回成立後、2時間45分を超えて新しいイニングに入らない	7回以降、表終了時に2時間45分を超えていて、後攻のチームが 勝っている場合、裏は行なわない 7回以降、後攻のチームが勝っていて、その攻撃中に2時間45分 を超えた場合は、その打者の打撃完了時点で試合終了とする
振替	振替試合	一部試合において7イニング制ダブルヘッダーを導入する	
7イニング制ダブルヘッダー	試合時間の制限	5回成立後2時間15分を超えて新しいイニングに入らない	5回以降、表終了時に2時間15分を超えていて、後攻のチームが 勝っている場合、裏は行なわない。 5回以降、後攻のチームが勝っていて、その攻撃中に2時間15分 を超えた場合は、その打者の打撃完了時点で試合終了とする。
プレーオフ	日程	全て1試合勝負 10/17地区CS 予備日10/18,19 10/21リーグCS準決勝 予備日10/22,23 10/25リーグCS決勝 予備日10/27,28 ※CSは延長制限無し	
	地区CS	各グループ毎に勝率を競い、勝率の高いチームが地区CSへ進出 例:「グループA進出チーム」VS「グループB進出チーム」 各地区毎に地区優勝(リーグCS進出)を決定する	グループの勝率が同率の場合、リーグ戦の以下成績によって出 場チームを決める ①直接対決の勝敗 ②直接対決の得失点差 ③直接対決の得点率 地区CSのホームはリーグ戦において勝率が高いチームがホ ム 勝率が同率の場合は上記と同様
	リーグCS	地区優勝3チーム+ワイルドカード1チーム 計4チームでトーナメント 【ワイルドカードチーム決定方式】 地区CSで地区優勝できなかった3チームの中で勝敗分数の成績が良いチ ーム 【リーグCSホーム原則】 プレーオフでの直近試合の得失点差が高いチームがホーム 【リーグCS準決勝】 トーナメント① 「地区優勝3チームの中で得失点差1位チーム」VS「ワイルドカードチーム」 トーナメント② 「地区優勝得失点差2位チーム」VS「地区優勝得失点差3位チーム」 【リーグCS決勝】 リーグCS準決勝での得失点差でホーム・ビジター決め	【ワイルドカードチーム決定方法】 ①地区CSでの得失点差 ②地区CSでの得点率 ③リーグ戦の勝 率 ④リーグ戦の得失点差 ⑤リーグ戦の得点率 【リーグCSのホーム原則の補足】 プレーオフ直近試合での得失点差が同じ場合以下の順番でホ ムを決める ①プレーオフ得点率 ②リーグ戦勝率 ③リーグ戦得失点差 ④ リーグ戦得点率 得点率(=総得点/攻撃イニング数)
感染防止対策	検温記録、行動履歴	6/1以降は全球団に義務付ける	
	ソーシャルディスタンス	攻撃時にベンチ入りできるのは、指導者と出場選手のみ	
	競技者対応	控え選手、ベースコーチのマスク着用 審判員は飛沫防止のため必要最低限の音量で判定	控え選手の待機場所は3密を避け球場毎に判断 ユニフォーム着用者のマスク着用は体調等を考慮し、球団数量 にて判断する
	関係者対応	関係者全員マスク着用	
	トレーナー対応	施術時はトレーナー&選手はマスク着用を義務付け 1回あたりの施術は20分以内	施術記録を残す
	試合運営①	必要最小限の試合進行の徹底	
	試合運営②	必要最小限の競技進行の徹底	
	試合運営③	必要最小限のメディア対応の徹底	
遠征バスにおけるルール	検温、消毒液、マスク等を徹底 人数は球団数で3密対策を徹底の上、最小限人数の移動を図る		
有観客開催 ガイドライン	トレーサビリティ	関係者・入場者に感染者が発生したことを想定し、関係各所に到達できるシ ステムを構築する	
	検温	非接触体温計による計測の徹底(関係者&来場者全員)	
	消毒液	球団側で必ず手配 トイレの消毒液orハンドソープ設置の徹底	
	マスク	来場者はマスク着用	

※このガイドラインの内容は社会情勢を考慮し、代表者会議の決議により変更することができることとする